

1 単元名

「打ち上げ花火」～「高学年らしい」うたごえ発表会をめぐって～

2 単元の目標

- 自分たちで決めた目標に対する自分たちの合唱の現状を知り、日々の練習を見直すことができる。
(知識・技能)
- 合唱の改善に向けて、アクションプランをもとに友達と意見を出し合い、今後の練習について考えることができる。
(思考・判断・表現)
- 「高学年らしい」うたごえ発表会に向けて、友達と共に実践しようとする。
(主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

子どもの姿

- ・言われたことにはさっと行動に移せるが、自分たちで考えすすんで行動する場面が少ないように感じる。野外教育活動では、5分前行動など、子どもたちで声を掛け合い、行動する場面が多くあった。子どもたちに仕事を任せることで、自分たちで考えて行動しようとする姿が見られるようになってきた。
- ・自分の考えを友達に伝えることが苦手な子が多い。学級会では、発言する子が限られてしまっている。一方で、友達の話をしっかりと聞いて自分の考えを書いている。伝えたいという思いや自分の考えに自信をもたせることで、発言できる子が少しずつ増えてきた。
- ・1学期のうたごえ集会では、表情や口の開け方など歌う姿を意識して取り組んだ。子どもたちは、達成感と歌詞の意味を考えた表現ができなかったという思いをもっている。また、6年生の歌う姿を見て、「高学年らしいうたごえ発表会にしたい」という思いをもった子が多くいる。

題材(単元)について

目標に向け、課題を見つけ、学級で話し合い、協力して実践し、振り返ることを繰り返して行くことで、よりよい集団をめざしていく。その中に、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」という三つの視点を取り入れることで、めざす子どもの姿に迫っていきたい。また、子どもたちが学校の誇りとして取り組んでいる「うたごえ発表会」を教科横断的なテーマとし、学級活動だけでなく、音楽や学校行事、道徳など、教科等との関連を図り、特別活動の特質を生かしたカリキュラム・マネジメントを取り入れて行う。「高学年らしい」うたごえ発表会にする過程で、なりたいたい自分・つくりたい学級に向けて、友達とかかわり学びを深めさせる。

かかわりの中で学びを深めるための手だてとねがい

- ・スーパーリーダー(学級委員・パートリーダー)が、うたごえの課題や改善方法を定期的に話し合う。その思いを学級会や日々の練習に生かすことで、学級の課題を自分ごととして捉え、主体的に取り組めるようにする。
【思いをもたせる】
- ・学級力分析シートを用いて、子どもたちに学級の状態をレーダーチャートで提示する。資料をもとに、学級の現状を把握し、改善、実行するPDCAサイクルを取り入れることで、すすんで行動する姿を期待する。
【学びを再構成する】
- ・グループ活動やフリートーク、全体での話し合いなど、友達とかかわり合う場面を設定し、多様な考えと出合わせることで、友達の考えを尊重しながら合意形成を図り、意思決定をする。【学びをつなげる】

めざす子どもの姿

友達とかかわり合い、相手の考えを尊重しながら、合意形成を図り、意思決定する姿を期待する。目標に向けて、PDCAを繰り返して行くことで、学級の課題を自分ごととして捉え、すすんで話し合いに参加してほしい。なりたいたい自分・つくりたい学級に向けて、友達とかかわりながら、がんばることができる子を育成したい。

「打ち上げ花火」～「高学年らしい」うたごえ発表会をむかして～

「高学年らしい」うたごえ発表会に向けて～学級練習～③

- うたごえ集会をふりかえろう。①
 - ・指揮者を見て、立ち姿を意識して歌えたよ
 - ・表情でも伝えられるように笑顔で歌ったよ
 - ・6年生のうたごえはとてもきれいでかっこよかったな
- 「くじけない心」高い目標を目指し、粘り強く努力しよう。(道徳①)
 - ・理絵さんのように高い目標をもってがんばりたい
 - ・すぐにあきらめず、努力し続けたいな
- うたごえ発表会の目標を決めよう。①
 - ・「高学年らしい」うたごえ発表会にしたい
 - ・歌詞の意味を考えて、聴いている人に伝わるようにしたい
- 歌詞の意味や歌い方を考えよう。(音楽②)
 - ・「夢を信じて」と歌詞にあるから勇気をもらえる曲だよ
 - ・力強い感じを表現したいな
- 「高学年らしい」うたごえ発表会に向けて話し合おう。①
 - ・朝の歌から真剣に歌おう
 - ・自分たちでいいところや課題を見つけて伝え合おう

※1学期のアンケート結果などを基に、うたごえ集会を振り返り、いいところや課題を見つけさせる。また、6年生の歌についても触れ、「高学年らしい」うたごえ発表会とは、何か考えさせる。

※道徳では、高い目標をもち努力する大切さについて考えさせるために、「ライバルは自分自身」という資料を用いる。振り返りで、うたごえ発表会につなげるようにする。

※音楽では、歌に合った表現の工夫をさせるために、歌詞の意味を考えさせる。また、各学級のパートリーダーが集まり、学級で考えたことを学年で共有する。

※目標に向けた具体的な取り組みを考えさせるために、アクションプランを決める。音楽で学習した表現方法などについても触れ、考えさせる。

「高学年らしい」うたごえ発表会に向けて～学年練習～③

- 「高学年らしい」うたごえ発表会に向けて
 - 今の自分たちを振り返ろう。① (本時4/6)
 - ・決めたことができていないな
 - ・自分たちで協力してよりよくしていこう
- 「わが国の文化を愛する心」
 - 伝統や文化を受け継ぎ大切にしよう。(道徳①)
 - ・伝統を守り続けることは大変だけどかっこいいな
 - ・うたごえ発表会の伝統をつなげていきたい
- 校内うたごえ発表会。(音楽②)
 - ・他の学年に「高学年らしい」歌を見せることができたよ
 - ・緊張して、笑顔で歌えなかったな
- 伝統あるうたごえ発表会で「高学年らしい」を見せよう。①
 - ・緊張して力が出し切れなかったな
 - ・歌だけでなく、移動や立ち姿、表情でも伝えたいな
- うたごえ発表会。(行事①)
 - ・地域の方やお家の人に「高学年らしい」姿を見せることができたよ
 - ・歌詞の意味を歌と表情で伝えることができたよ
- うたごえ発表会を振り返ろう。①
 - ・来年は「最高学年」として、うたごえ発表会をつないでいきたいな

※学級で決めたアクションプランが適切か振り返るため、学級力分析シートを用いて改善案を考えさせる。

※道徳では、伝統と文化の尊重について考えさせるため、「もう一つの塔」という資料を用いる。伝統あるうたごえ発表会をつないでいきたいという思いをもたせる声掛けをする。

※校内うたごえ発表会を通して、達成感ややりきれなかった悔しさを感じさせる声掛けをする。

※校内うたごえ発表会での課題を見つけ、改善するため、学級力分析シートを用いて話し合いを行う。

※うたごえ発表会を自分たちの力でくり上げ、成功させたということを価値づけする。

※うたごえ発表会を通して、学んだことをこれからの生活に生かしていくため、話し合いを行う。

5 本時の計画

(1) 目標

- ・合唱の改善に向けて、アクションプランをもとに友達と意見を出し合い、今後の練習について考えることができる。
(思考・判断・表現)

(2) 準備 ワークシート

(3) 過程

学 習 活 動

※留意点 ☆つながり

○目標や目標に向けた方法を確認する。

到達度 26点

- ・まだまだ目標には到達していないな

目標に向けて、アクションプランを改善しよう

○目標に向けて、アクションプランを改善する。

レベル1「立ち姿から伝える」

- ・口をしっかりと開けて歌う
- 映像を見ると、思っているより声が出ていなかった
- ・指揮者を見て、リズムにのって歌う
- ・表情豊かに歌う

レベル2「迫力を出す」

- ・楽譜を見て、音程や強弱をきちんと理解しよう
- はっきり強弱をつけないと伝わらない
- ・中学生の歌は迫力がある ・どこが自分たちと違うのかな
- レベル1の立ち姿をきちんと達成している
- 音程が正しくて、きれいにハモっている

レベル3「歌詞の意味を歌で伝える」

- ・みんなで考えたように歌えてないな
- 歌詞の意味をもう一度考える
- ・歌詞の意味が伝わるような歌い方をしよう
- ・歌詞の意味を他のクラスにも伝えたい
- ・うたごえ発表会は5年生だけでは、成功しない
- ペアの3年生に伝えたい
- 6年生のお手本を見て、教えてもらいたい

○個人の目標を決める。

- ・歌詞の意味が伝わるように工夫したい
- ・パートリーダーとして、決まったことを意識して、みんなに伝えていきたい

○教師の話聞く。

○話し合ったことをもとに歌ってみよう。

- ・みんなで考えたことを意識して練習したい

※学級会で決めた目標や方法を確認し、アンケート結果から、うたごえの現状を共有する。

※学級委員が司会で学級会を進める。

※時間を意識して考えられるようにするため、タイマーを使用する。

※アクションプランのレベル1から順に話し合いを行う。学級・学年練習の様子や学級力分析シートをもとに理由もつけて言えるようにする。

※話し合いの中で、グループで考える時間を取り、合意形成を図り、アクションプランの方法を改善していく。

※話し合いが停滞した際には、教師から質問する形で投げかけたり、司会者に助言をしたりする。

※練習時の映像なども活用し、具体的な意見が言えるように促す。また、音楽の授業で学習したことを生かし、歌詞や楽譜から、歌い方を考えさせたい。

☆目標に向けて、自分の考えと比較しながら友達の考えを聞き、必要な方法を考え、すすんで話し合う姿を期待する。

※今後の見通しを立てやすいように、話し合いで決まったことを確認する。

※学級で決めたことに対して、自己の目標を立てさせるため、自己の生活を振り返りどのように解決していくかを考えさせる。

※子どもの自信や実践への意欲を高めるため、今回の話し合いの流れや決定事項のよい点を話す。

(4) 評価 合唱の改善に向けて、アクションプランをもとに友達と意見を出し合い、今後の練習について考えることができる。(話し合いの様子、ワークシートから)